

2020年3月期 第2四半期（2019年9月期） 連結決算発表総合表（国際会計基準） 補足資料

2019年11月1日
双日株式会社

(単位：億円)

(単位：億円)

経営成績

	19/9期 実績	18/9期 実績	増減	20/3期 修正見直し (19/11/1公表)	進捗率 (対見直し)
収益	8,938	9,418	▲ 480	-	-
売上総利益	1,097	1,209	▲ 112	2,500	44%
販管費	▲ 856	▲ 856	0	▲ 1,780	
その他の収益・費用	1	56	▲ 55	0	
金融収益・費用	▲ 21	▲ 13	▲ 8	▲ 60	
持分法による投資損益	132	119	+ 13	280	
税引前利益	353	515	▲ 162	940	38%
当期純利益 (内訳)	316	400	▲ 84	760	42%
当社株主帰属 非支配持分	295 21	371 29	▲ 76 ▲ 8	720 40	41%
基礎的収益力（※1）	355	459	▲ 104	940	
包括利益（当社株主帰属）	▲ 66	395	▲ 461		

(※1) 基礎的収益力=売上総利益 + 販管費（貸倒引当金繰入・貸倒償却を除く）+ 金利収支 + 受取配当金 + 持分法による投資損益

(単位：億円)

財政状態

	19/9末	19/3末	増減	20/3末 修正見直し (19/11/1公表)
総資産	23,212	22,971	+ 241	23,500
自己資本（※2）	5,972	6,182	▲ 210	6,200
自己資本比率	25.7%	26.9%	▲ 1.2%	26.4%
ネット有利子負債（※3）	5,625	5,847	▲ 222	6,400
ネットDER（倍）	0.94	0.95	▲ 0.01	1.0
リスクアセット	3,600	3,600	0	-
リスクアセット/自己資本（倍）	0.6	0.6	0.0	-

(※2) 自己資本は、資本の「当社株主に帰属する持分」とし、ネットDERの分母及び自己資本比率の分子に使用しております。

(※3) ネット有利子負債の計算には、「リース負債(流動・非流動)」を含めておりません。

(注) 将来情報に関するご注意

上記の業績見直しは、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、業績を確約するものではありません。実際の業績等は、内外主要市場の経済状況や為替相場の変動など様々な要因により大きく異なる可能性があります。重要な変更事象が発生した場合は、適時開示等にてお知らせいたします。

セグメントの状況【売上総利益】

	19/9期	18/9期	増減
自動車	209	207	+2
航空産業・ 交通PJ	66	71	▲ 5
機械・医療 インフラ	69	58	+11
エネルギー・ 社会インフラ	100	89	+11
金属・資源	118	198	▲ 80
化学	224	236	▲ 12
食料・アグリ ビジネス	82	102	▲ 20
リテール・ 生活産業	181	194	▲ 13
産業基盤・ 都市開発	28	29	▲ 1
その他	20	25	▲ 5

セグメントの状況【当期純利益（当社株主帰属）】

	19/9期	18/9期	増減	前年同期比増減要因	20/3期 修正見直し	20/3期 期初見直し	足元の状況	(ご参考) 19/3期 実績
自動車	15	36	▲ 21	前年同期における自動車関連会社の売却等により減益	55	55	コスト見直しを行いつつ、海外自動車関連会社での販売取り組みを進める	64
航空産業・ 交通PJ	6	19	▲ 13	前年同期における航空機機体売却の反動等により減益	50	50	航空関連や鉄道案件からの収益貢献等を見込む	40
機械・医療 インフラ	15	7	+8	医療インフラ関連や産業機械取引の増加等により増益	45	45	産業機械や医療インフラ関連等の収益積み上げを見込む	28
エネルギー・ 社会インフラ	34	27	+7	国内外発電事業の運転開始や石油権益売却等により増益	80	55	下期も国内外発電事業や関係会社からの収益積み上げを見込む	58
金属・資源	98	162	▲ 64	海外石炭事業の販売価格下落等により減益	235	250	足元の石炭等の資源価格を踏まえ、見直しを下方修正。引き続き資源価格、鉄鋼需要の動向等には注視	305
化学	48	48	0	メタノール価格下落の影響はあるも、販管費削減効果等により横ばい	110	110	概ね見直し通り	90
食料・アグリ ビジネス	12	21	▲ 9	国内水産事業の減損や海外肥料事業での天候不順の影響に伴う販売数量減少及び販売価格統制等により減益	20	45	上期での減損や、海外肥料事業における需要低迷により、見直しを下方修正	23
リテール・ 生活産業	28	33	▲ 5	輸入合板取引の年初来からの価格下落の影響や食肉取引の利益率低下等により減益	75	75	概ね見直し通り	57
産業基盤・ 都市開発	6	▲ 1	+7	海外工業団地の引き渡し増加等により増益	10	10	概ね見直し通り	11
その他	33	19	+14		40	25		28

連結 合計	1,097	1,209	▲ 112	2,500	2,600	295	371	▲ 76	720	720	704
----------	-------	-------	-------	-------	-------	-----	-----	------	-----	-----	-----

商品市況・為替

	2018年度市況実績 (4~9月平均)	2019年度期初市況前提 (年平均)	2019年度市況実績 (4~9月平均)	直近市況実績 (10月28日時点)
原油 (Brent)	US\$ 75.4 /bbl	US\$ 60.0 /bbl	US\$ 65.2 /bbl	US\$ 61.6 /bbl
石炭 (一般炭) (*1)	US\$ 111.5 /t	US\$ 80.0 /t	US\$ 73.9 /t	US\$ 70.1 /t
石炭 (原料炭) (*1)	US\$ 190.4 /t	US\$ 180.0 /t (上期) US\$ 170.0 /t (下期)	US\$ 180.8 /t	US\$ 149.0 /t
為替 (*2)	¥ 110.7 /US\$	¥ 110.0 /US\$	¥ 108.7 /US\$	¥ 108.8 /US\$

(*1) 石炭の市況実績は、一般的な市場価格（一般炭：globalCOAL NEWC Index、原料炭：S&P Global Platts Coal Trader International）であり、当社の販売価格とは異なる

(*2) 為替の収益感応度（米ドルのみ）は、¥1/US\$ 変動すると、売上総利益で年間 5億円程度、当期純利益（当社株主帰属）で年間 2.5億円程度、自己資本で 20億円程度の影響